

日本証券アナリスト協会主催 一般個人投資家様向け 会社説明会資料

株式会社 システムプロ
銘柄コード:2317、東証1部
平成21年9月14日

1. 事業概要（平成21年7月31日現在）

➤ 会社概要

会社名	株式会社システムプロ（SystemPro Co.,Ltd.）		
設立	昭和58年 3月24日	資本金	15億1,375万円
決算期	10月	発行済株式数	231,000株
本社所在地	〒220-8123 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー23F		
役員	代表取締役会長：逸見 愛親		代表取締役社長：三浦 賢治
	専務取締役：淵之上 勝弘		常務取締役：国分 靖哲
	常務取締役：安達 紘一郎		取締役：河地 伸一郎
	取締役：渡辺 立哉		取締役（社外）：板谷 嘉之
従業員数	700名（技術者：636名）；連結 946名（契約社員含む）		
上場市場	東京証券取引所 市場第一部（2005年10月昇格）		

➤ 事業内容

移動体高速データ通信システム事業（移動体通信機器ソフトウェア開発支援・品質検証支援）
 情報システムサービス事業（企業向け各種ソリューション開発支援・品質検証支援）

➤ 関係会社

【連結子会社】

株式会社ProVision : 移動体通信端末ソフトウェア品質検証、保守運用

【持分法適用関連会社】

カテナ株式会社 : 金融機関向けを中心とするシステム開発、システムの運用・保守、ヘルプデスク

株式会社ジークレスト : オンラインゲームコンテンツプロバイダ

北洋情報システム株式会社 : 移動体通信端末ソフトウェア開発、各種ソリューション開発

2. グループ概要

子会社

持分法適用会社

会社名	事業ドメイン	業績	トピックス
ProVision SP:80% 北洋情報:20%	- 品質管理事業 - 保守・運用事業 - S/W 開発事業	<平成20年10月期> 売上: 1,402百万円 経常利益: 30百万円 純利益: 79百万円	社員数は246名。 1ヶ月間の研修の後、システムプロの品質検証業務にて稼働中。システムプロの売上・利益に対する貢献大。
カテナ SP:39.8%	- 金融向けソリューション開発 - 保守・運用業務 - 機器、ソフト販売	<平成21年3月期> 売上: 37,211百万円 経常利益: 2,039百万円 純利益: 1,069百万円	「Google Apps」の正規販売代理店に。システムプロと共同で「クラウドソリューション」サービスを開始。
G-Crest SP:29.8% サイバーエージェント: 59.1%	- コンテンツ・プロバイダ事業 - オンラインゲーム事業 - 携帯向けコンテンツ事業	<平成20年9月期> 売上: 2,226百万円 経常利益: 277百万円 純利益: 132百万円	既存コンテンツ充実と新規コンテンツ拡充を進めた結果、単月売上が2億円を突破。 ゲームポータルサイトのカスタマイズ・運用を当社が支援。
北洋情報システム SP:25%	- 組み込みソフト開発・評価 - ソリューション開発	<平成20年8月期> 売上: 2,461百万円 経常利益: 173百万円 純利益: 96百万円	当社から札幌へのオフサイト開発を発注。現在モバイル案件を中心に8工数/月稼働中。

3. 経営方針

➤ 基本に忠実であれ！

「技術の基本、サービスの基本、経営の基本に忠実に攻める」

これが当社の経営の原点です。

当社は技術者が商品の会社であり、基本に忠実であるとは、優秀な社員を採用し、教育し、付加価値の高い技術者の集団に育て、そして適材適所に配置して事業戦略を練ることであると考えます。

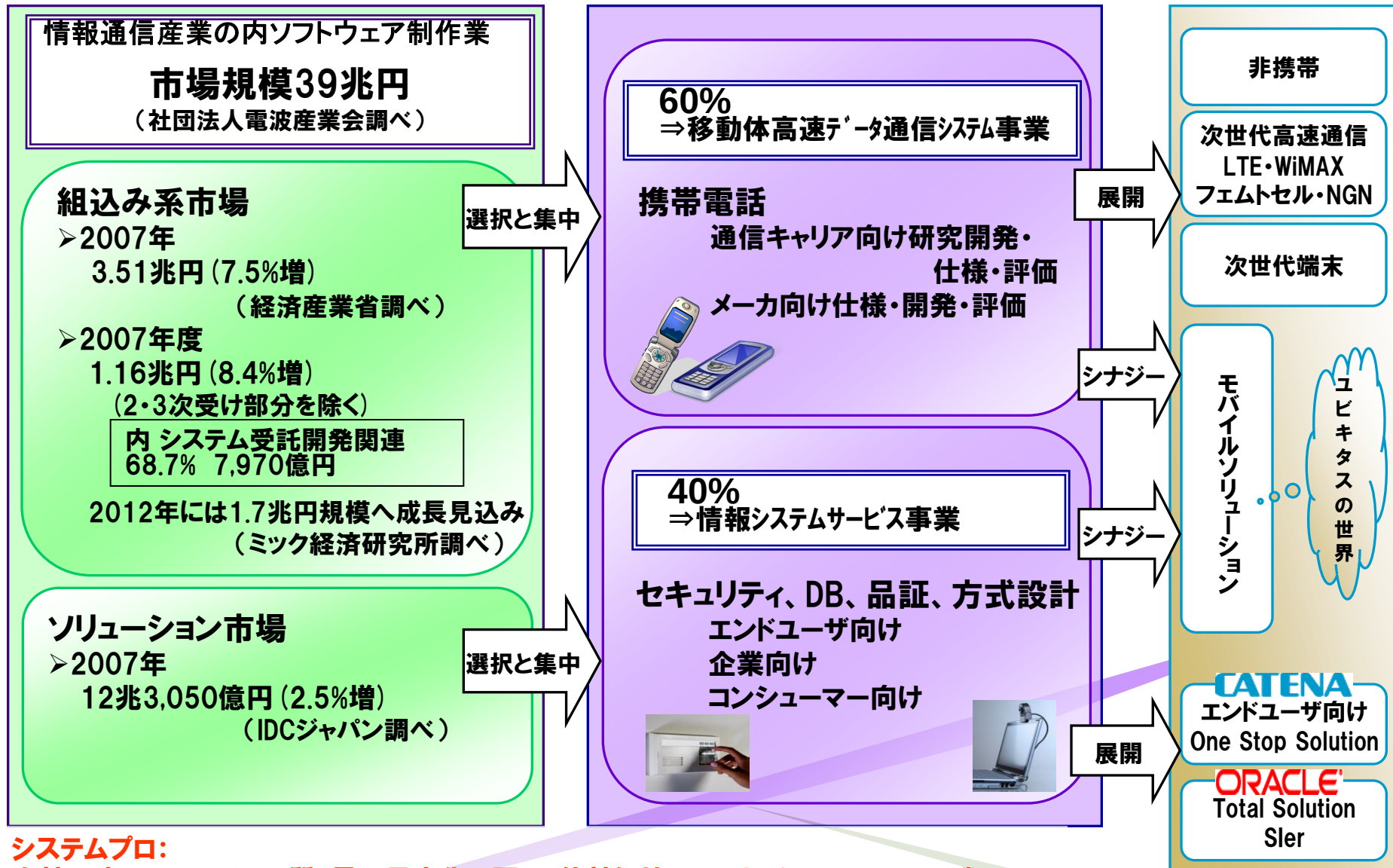
➤ CSマインドを持った技術者集団！

当社の技術者は、技術力・開発力の向上といった機能的サービスとお客様にご満足頂くために何をすべきかを常に考える情緒的サービスの二つのサービスを兼ね備えた技術者集団をめざします。

顧客に支持されない会社は存続しえません。技術力と開発力は単に手段にすぎず、当社は基本的にサービス業であることを社員教育の中で徹底的に伝え教育しています。

※CSマインド：顧客満足向上意識

4. システムプロの事業領域



システムプロ:

全社一丸で、サービスの質・量の最大化を図り、他社に比べコストパフォーマンスで勝る

5. 株式データ

■主要株価指標 (今期予想ベース)

株価 43,600円 (9/9終値)

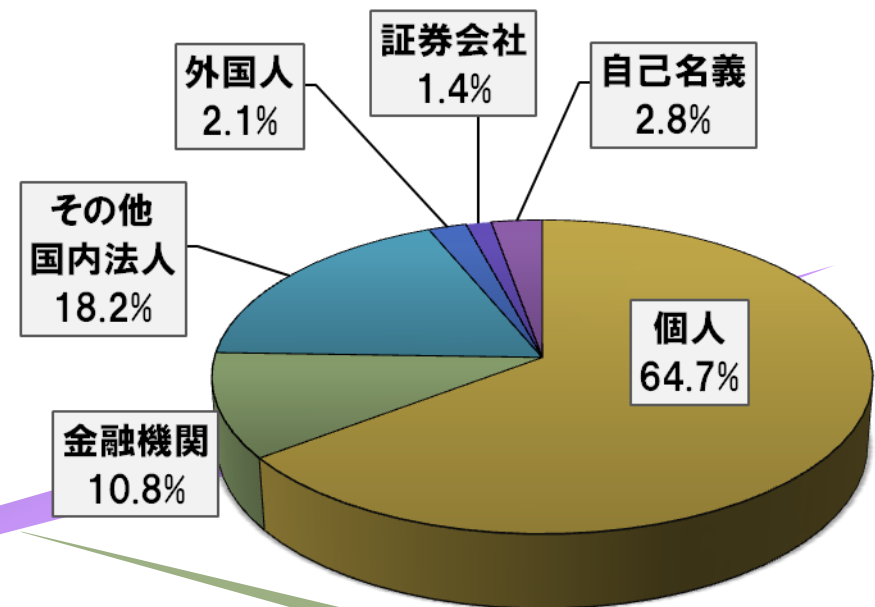
➤ 時価総額	100.7億円
➤ 連結PER	11.5倍
➤ 連結PBR	1.7倍
➤ 連結ROE	15.2%
➤ 1株当たり配当金	2,400円
➤ (中間1,200円、期末1,200円)	
➤ 配当性向	63.4%
➤ 配当利回り	5.5%

■売買単位 1株

■発行済株式総数 (自己株式を除く)
223,266株

■株主数 (平成21年7月末)
7,530名

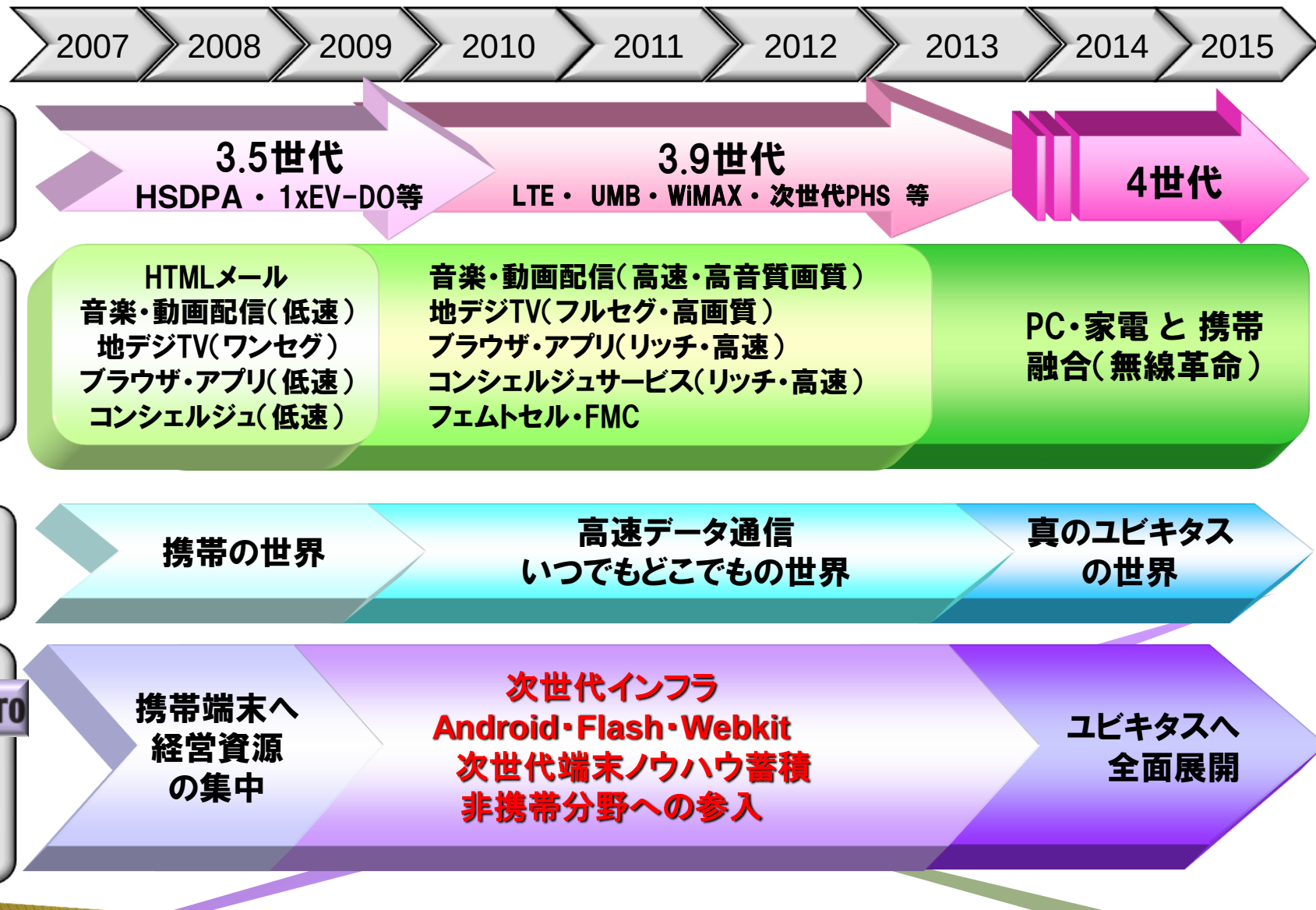
■株式分布状況 (平成21年7月末)



6. 事業戦略

- 移動体高速データ通信システム事業部
- 情報システムサービス事業部

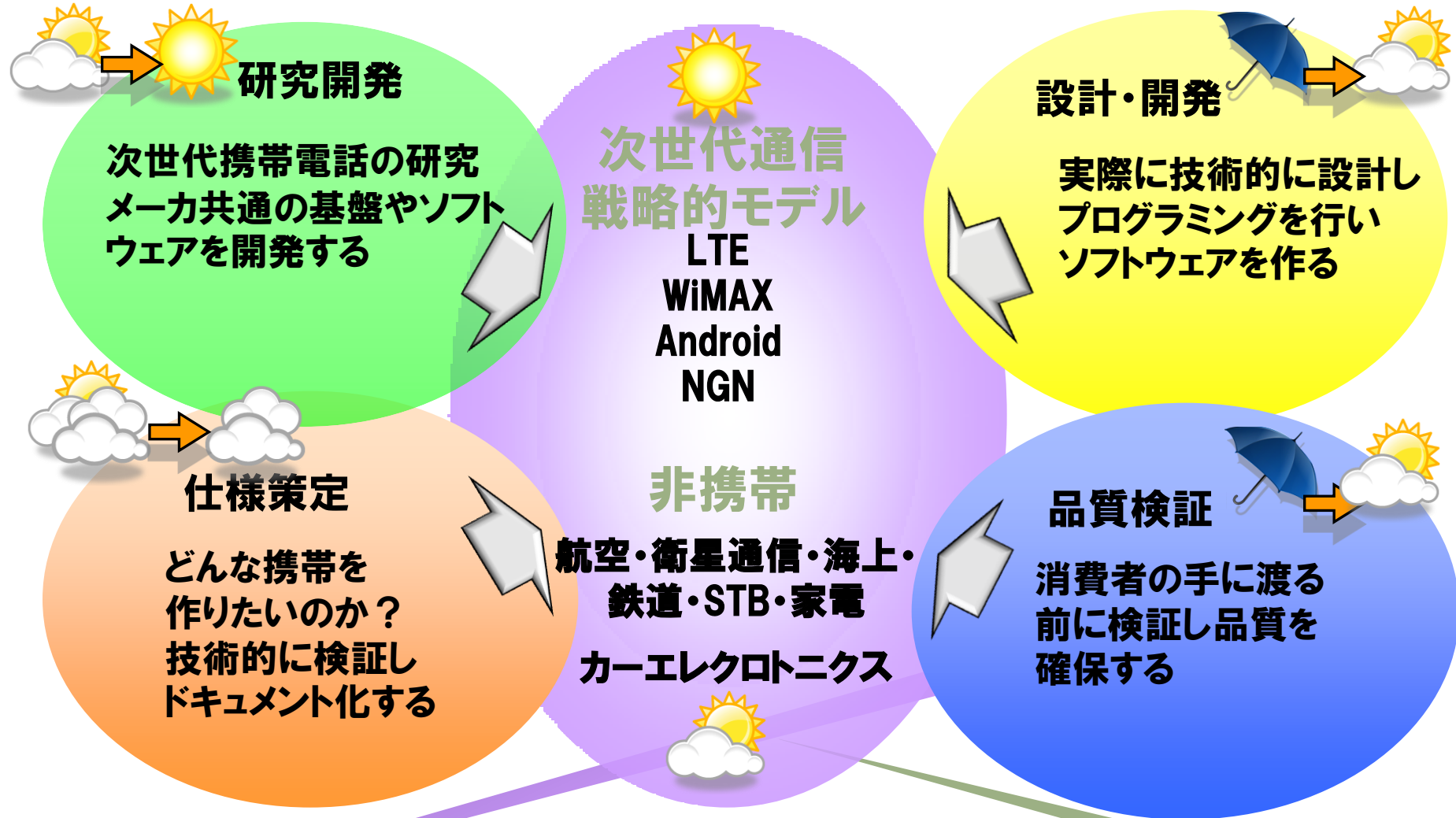
6-1. ロードマップー移動体高速データ通信システム事業部



6-2. 業務内容別現況と今後の戦略ー移動体高速データ通信システム事業部

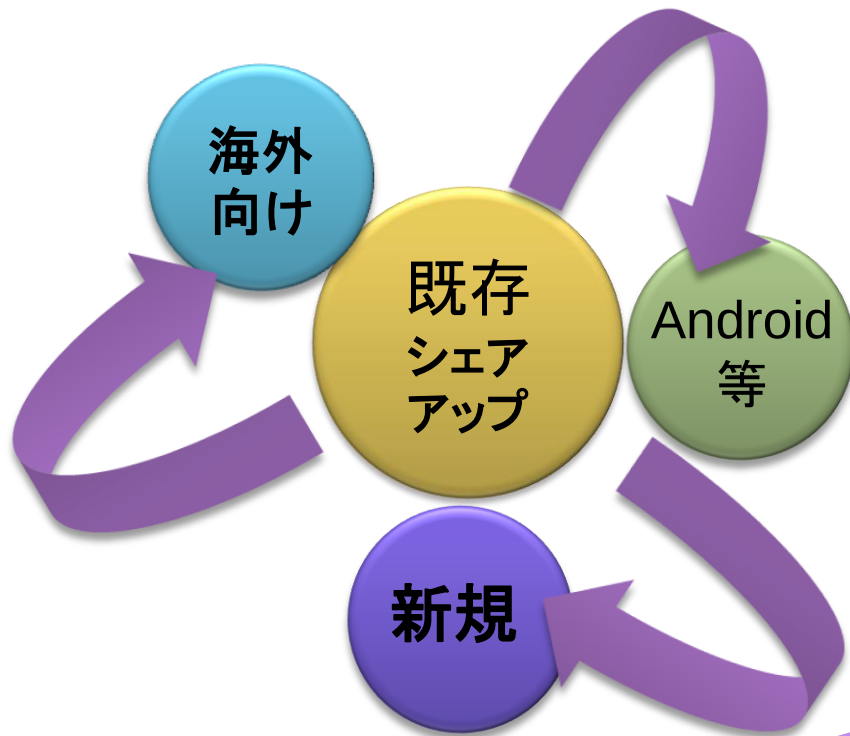
来るべきユビキタス社会に向けて

携帯電話 オンリー から次世代インフラ整備(基地局)・非携帯分野へ

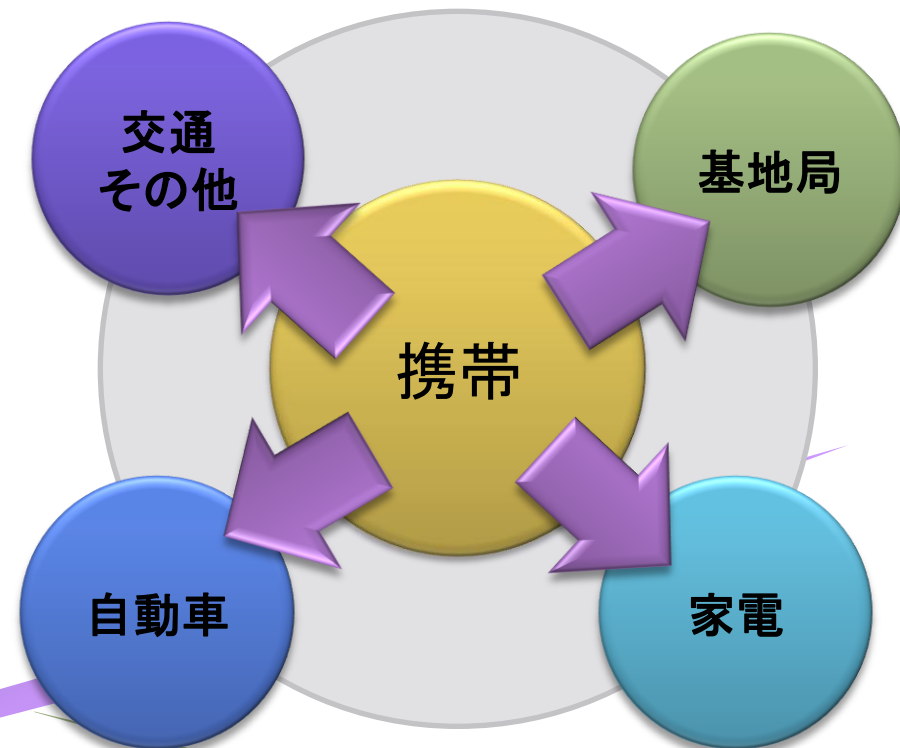


6-3. 成長モデル－移動体高速データ通信システム事業部

既存市場深耕



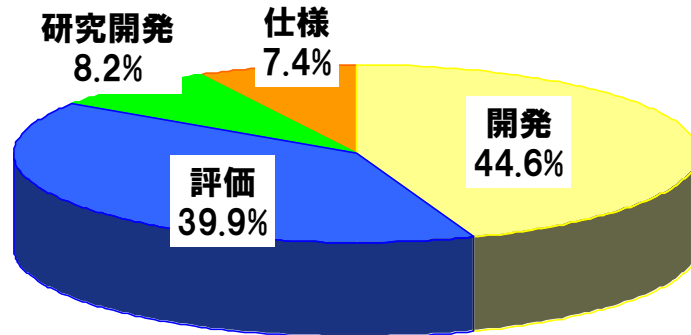
新規市場進出



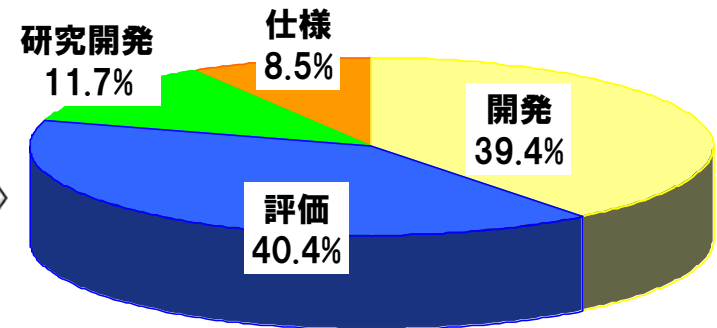
6-4. 工程別・キャリア別比率－移動体高速データ通信システム事業

工程別

H20年10月期

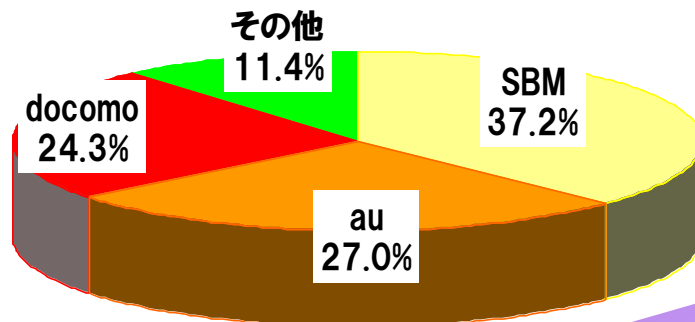


H21年10月期見込み

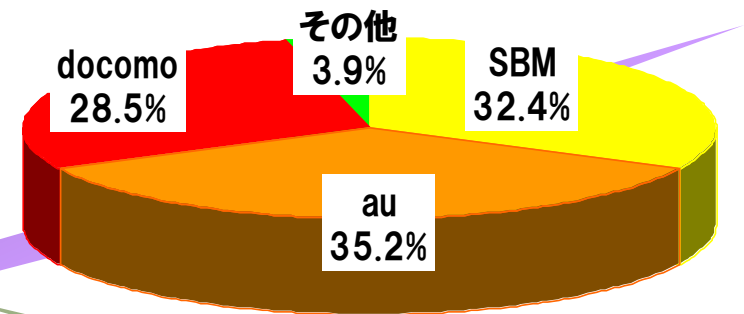


キャリア別

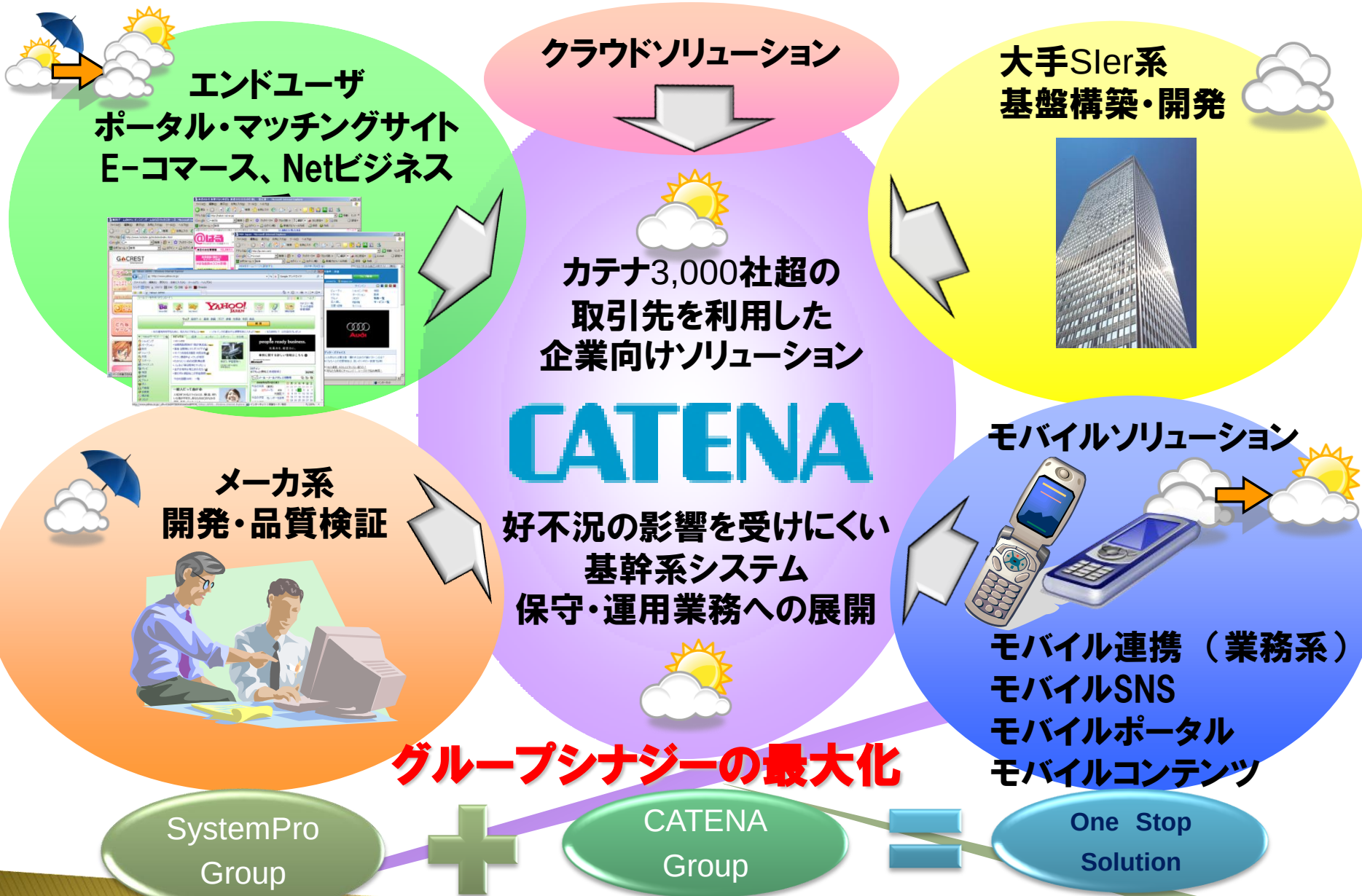
H20年10月期



H21年10月期見込み

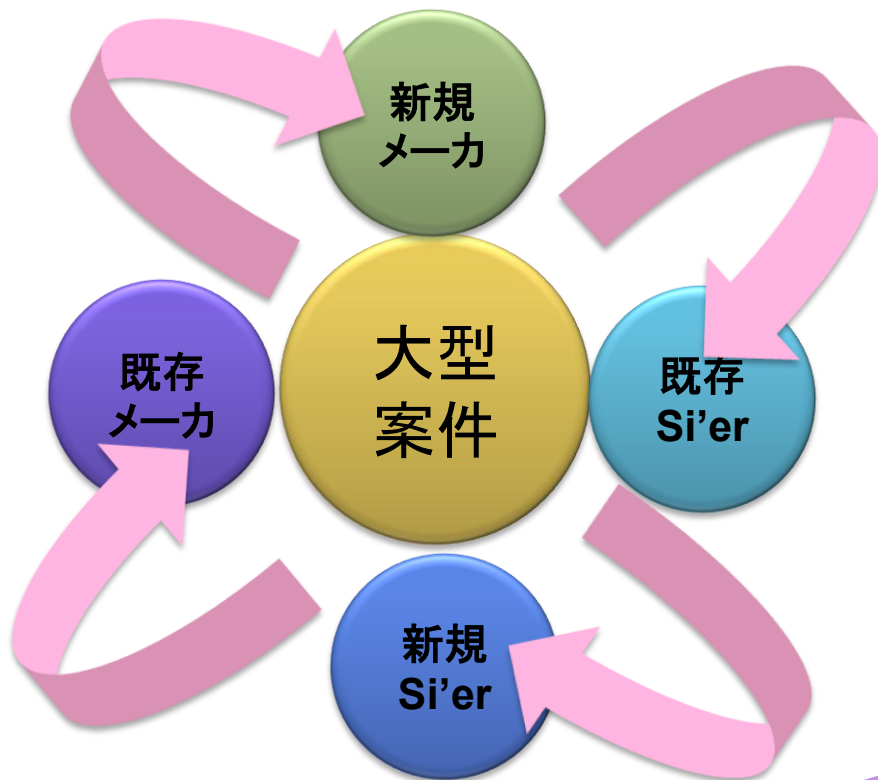


6-5. 業務内容別現況と今後の戦略－情報システムサービス事業部

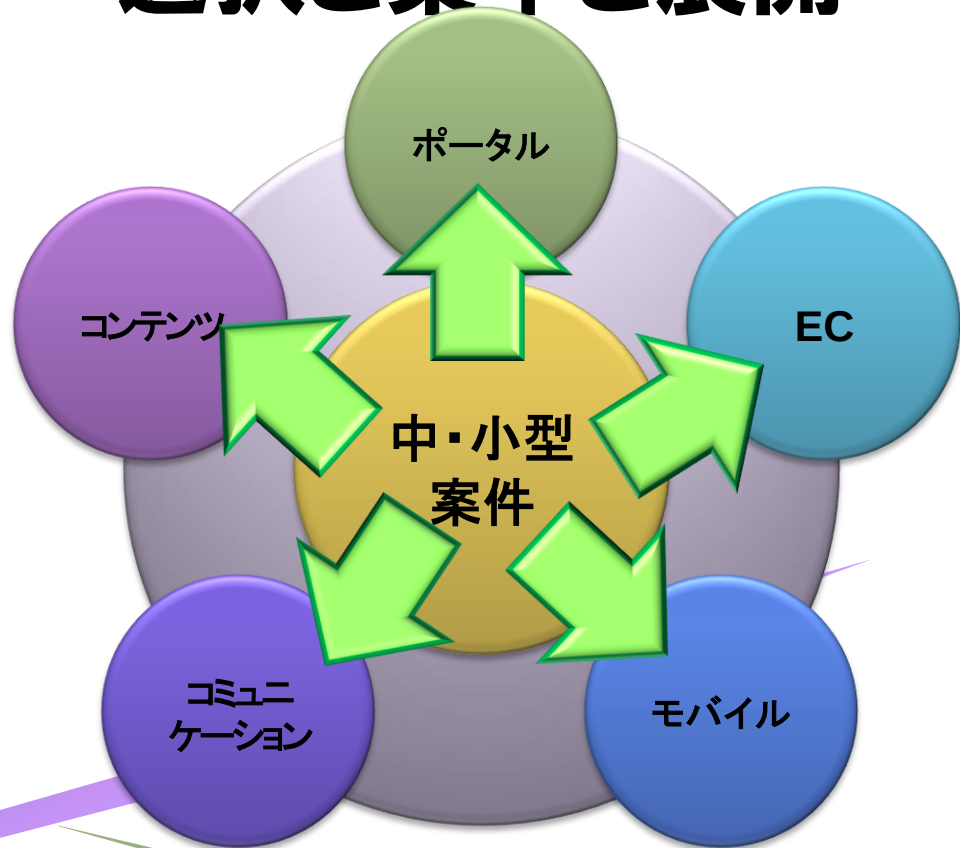


6-6. 成長モデルー情報システムサービス事業

大型2次受け案件 の受注拡大



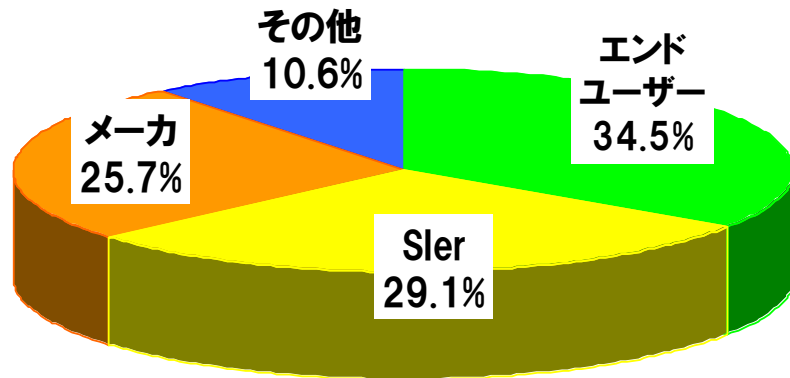
Net Biz会社への 選択と集中と展開



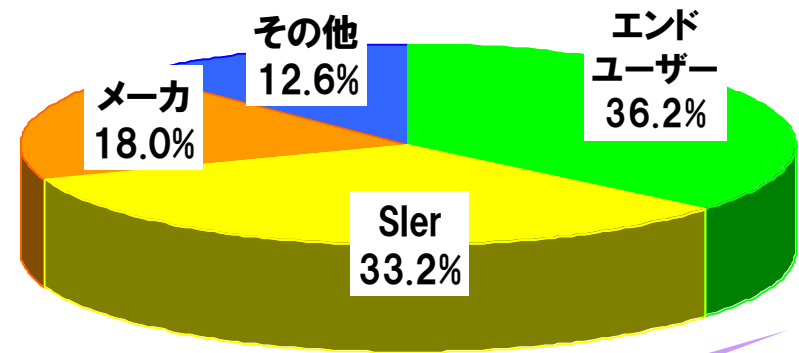
6-7. 顧客別比率－情報システムサービス事業

顧客別

H20年10月期



H21年10月期見込み



6-8. 強みを活かした事業展開ー情報システムサービス事業部

市場

好景気時

サービス品質・量 $\leq$ 価格

不景気時

サービス品質・量 $\geq$ 価格

同業他社

H21年3月期

◆大手Sler（10社平均）

粗利益率： 24%

営業利益率： 8%

単価(当社比)： 1.5 ～ 2倍

◆中堅・独立系Sler（10社平均）

粗利益率： 19%

営業利益率： 7%

単価(当社比)： 同等

SystemPro

H21年10月期見込み

ローコストオペレーションと
サービスの質・量の最大化で
価格競争力アップ

粗利益率： 32.2%(全社)

30.9%(情シ)

営業利益率： 17.2%(全社)

15.3%(情シ)

7. 連結業績

➤ 5ヵ年の推移

➤ 平成21年10月期

第3四半期累計期間 業績概要

(平成20年11月1日～平成21年7月31日)

通期業績予想

(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

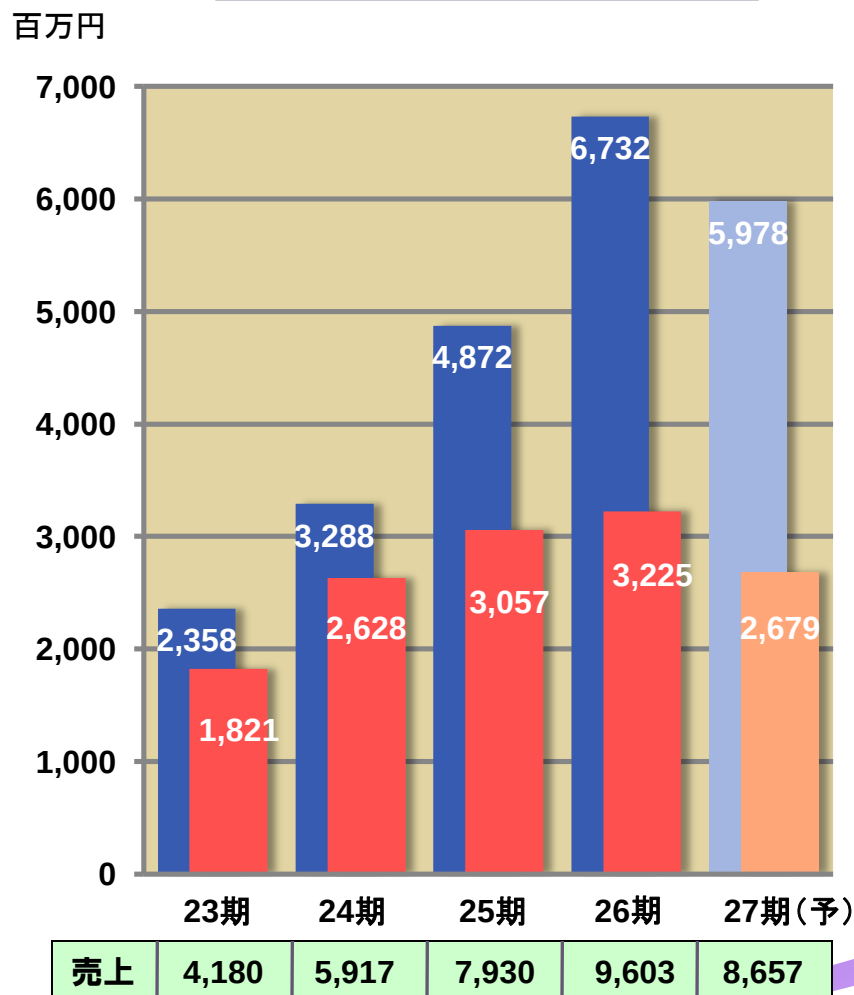
7-1. 連結業績の推移

(単位:百万円)

	23期 H17/10	24期 H18/10	25期 H19/10	26期 H20/10	27期(予想) H21/10
売上高	4,180	5,917	7,930	9,603	8,657
売上原価	2,877	4,147	5,165	6,338	5,871
売上総利益	1,302	1,770	2,765	3,265	2,786
販管費	585	808	1,170	1,449	1,300
営業利益	717	961	1,595	1,816	1,485
利益率	17.2%	16.3%	20.1%	18.9%	17.2%
経常利益	691	967	1,555	2,153	1,452
利益率	16.5%	16.4%	19.6%	22.4%	16.8%
純利益	561	602	849	1,275	845
利益率	13.4%	10.2%	10.7%	13.3%	9.8%
従業員数(期末)	440名	586名	790名	932名	953名
主要取引先	1. 日本電気 2. ソフトバンクモバイル 3. KDDIテクノロジー 4. NTTデータ 5. シャープビジネス コンピュータソフトウェア	1. KDDIテクノロジー 2. シャープビジネス コンピュータソフトウェア 3. 日本電気 4. ソフトバンクモバイル 5. NEC通信システム	1. KDDIテクノロジー 2. シャープビジネス コンピュータソフトウェア 3. ソフトバンクモバイル 4. NEC通信システム 5. 日本電気	1. シャープビジネス コンピュータソフトウェア 2. ソフトバンクモバイル 3. KDDIテクノロジー 4. NEC通信システム 5. 日本電気	1. シャープビジネス コンピュータソフトウェア 2. ソフトバンクモバイル 3. KDDIテクノロジー 4. 日本電気 5. 富士通

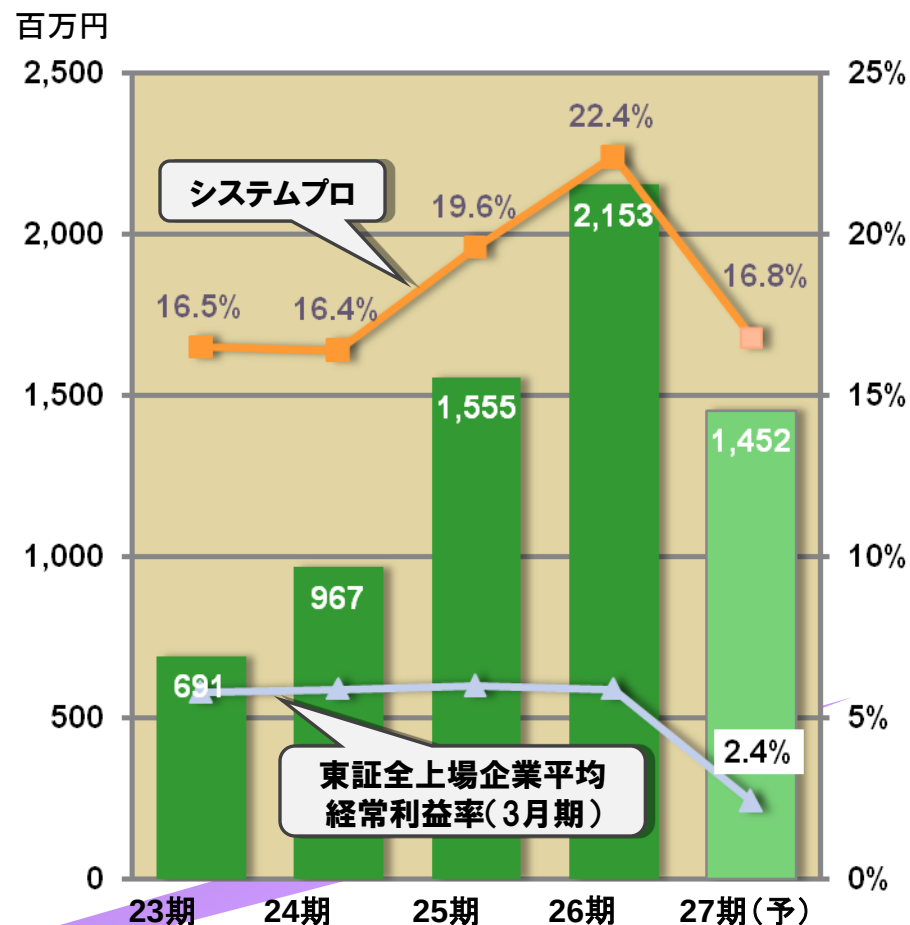
7-2.【連結】部門別売上高と経常利益の推移

部門別売上高の推移



■ 移動体高速データ通信システム事業部
■ 情報システムサービス事業部

経常利益額／率の推移



7-3. 平成21年10月期 連結3Q実績 & 通期予想

(単位:百万円)

	第3四半期累計実績			通期予想	
		前年同期	増減率 (%)		増減率 (%)
売上高	6,036	6,909	▲12.6	8,657	▲9.9
移動体高速データ通信システム	4,111	4,543	▲9.5	5,978	▲6.2
情報システムサービス	1,924	2,359	▲18.4	2,679	▲16.9
セキュリティ	—	6	—	—	—
売上原価	4,085	4,531	▲9.8	5,871	▲7.4
売上総利益	1,951	2,378	▲18.0	2,786	▲14.7
移動体高速データ通信システム	1,341	1,740	▲22.9	1,958	▲16.5
情報システムサービス	609	677	▲10.0	827	▲13.9
セキュリティ	—	▲39	—	—	—
販管費	1,000	1,115	▲10.3	1,300	▲10.2
営業利益	950	1,262	▲24.7	1,485	▲18.2
営業利益率	15.8%	18.3%	▲2.5p	17.2%	▲1.7p
経常利益	970	1,493	▲35.0	1,452	▲32.6
経常利益率	16.1%	21.6%	▲5.5p	16.8%	▲5.6p
純利益	586	840	▲30.2	845	▲33.7
純利益率	9.7%	12.2%	▲2.5p	9.8%	▲3.5p

8. 重点施策

不況を追い風に変えるべく次の3点に注力

1. 経験豊富なエンジニアの積極採用
2. コスト意識を持ち高い生産性とマネジメント力を持ったエンジニア集団の育成
3. 高い生産性による価格競争力を武器としたシェア拡大



景気回復時に成長スピードを加速させる

ご清聴ありがとうございました。

株式会社システムプロ

本資料に記載されている業績予想及び将来の事象に関する記載は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経済・事業環境の変化など様々な要因により変動することがありますので、ご了承ください。